

「宮崎市新庁舎建設基本構想」（案）に対するご意見の概要及び本市の考え方について

「宮崎市新庁舎建設基本構想」を策定するにあたり、令和5年2月20日（月）から令和5年3月15日（水）までパブリックコメントを実施しました。その結果、17件（17名）のご意見をいただきました。提出されたご意見の概要及び本市の考え方については、以下のとおりです。

No	ご意見	ご意見に対する本市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・華美でコストのかからない設計を望む。</li> <li>・過去の庁舎・市民会館の建て替え含めムダなコスト増額がたくさん盛り込まれている。シンプルで合理的・長期耐用とSDGs省エネ材の使用・設計事務所・建築業者で十二分な検討を行い施工費削減に時間をかけて取組を願う。</li> <li>・今後将来にわたり、公共インフラの修復・整備・維持管理に莫大な税金（費用）が掛かることを役所も市民も肝に銘じて将来の宮崎市を守る使命を忘れないでほしい。</li> </ul>	<p>新庁舎は行政としての機能、防災性能、耐久性を重視し、華美なものにならないよう、適正なコストで整備します。また、将来世代への財政負担の軽減が図られるよう、維持管理費までを含めた事業費の縮減に努めます。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎を同じ場所に建設するのはコスト面で賛成。ただ、コスト削減だけでは宮崎市は活性化しないので、移転しないことで浮いた予算を別の用途で使うべきと考える。</li> <li>・宮崎市が抱える問題の一つは宮崎市図書館が市街地より離れていることである。図書館は文化の中心であり街の中心にあるべき。庁舎を移転する予定だった中央公園に図書館を新設すべきだと考える。都城市や延岡市と比べて今の宮崎市図書館は貧弱で老朽化している。</li> <li>・また、宮崎駅直結のアリーナも再検討すべき。現在の宮崎駅は県庁所在地の駅とは思えないほど寂れている。駐車場のまま放置しておくのはもったいない。公共施設は無駄なものとして削減するのは時代遅れの思考である。税金を有効活用して地方を活性化の方が現代的。アリーナなど中核市として本来あるべき施設を用意することが若者を定着させ人口減少改善に繋がると思う。</li> <li>・新庁舎については、非接触型、オンラインを前提にした構造にすべき。対面窓口を減らすことで新庁舎をコンパクトにできる。</li> </ul>	<p>宮崎駅周辺のまちづくりについては、民間活力による賑わいづくりを進めていくことが重要であると考えておりますことから、本市では、民間主導型の公民連携事業に取り組んでいるところです。</p> <p>新庁舎については、行政手続きや相談窓口のオンライン化を進め、来庁する方、来庁されない方どちらにも利便性の高い市役所を目指し、庁舎規模をコンパクトにできるよう検討を進めてまいります。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公園を避けて、現在地での新庁舎建設を決断されたこと、歓迎している。</li> <li>・理由の1つ目は、現在地から離れると、現在地が荒れ果てることを案じるからである。</li> <li>・理由に2つ目は、貴重な中央公園を生かして欲しかったからである。</li> <li>・私の希望は、現在地に、可能な限り高層12階建て以上の巨大な一つのビルを建築してワンストップで済むようにしてほしい。2つのビルに分けて建てることは賛成できない。</li> <li>・洪水対策として、1～2階は、駐車場か、集会所として空けて欲しい。</li> <li>・松橋～旭通りの車線と歩道を拡幅できる工夫をしてください。</li> <li>・大淀川河川敷の現在の駐車場は、残しても良いと思われる。</li> </ul>	<p>新庁舎の配置案については、ご意見を踏まえながら、来年度策定する基本計画において、より具体的な検討を行います。ただし、航空法・電波法などの関係から、新庁舎の階数は、12階建て程度とせざるを得ない状況です。</p> <p>洪水対策については、敷地のかさ上げなども含め対応を検討します。交通対策についても、交通量調査などの結果を踏まえ、基本計画において、より具体的な検討を行います。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎建設の発表について現在地と決定しました事はとても嬉しく思った。今現在の数カ所に有る庁舎を1箇所に建設される新庁舎建設費等の軽減そして今現在のゆとり有る宮崎らしいほっと出来る自然豊かな雰囲気の場所に決まりほっとした。</li> </ul>	<p>来年度実施する基本計画において、利便性を考慮しながら、コスト縮減に努めるとともに、橘公園との一体的な整備を視野に入れながら、検討していくこととしております。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい市役所楽しみである。都会のようにマンションと一体型にしたりスーパーや図書館、保育園やクリニックなど住民が喜ぶような施設が併設されていると活気も出るのではないかな？</li> <li>・宮崎市長が若くなり、宮崎も福岡のように活気が出てくれるのを期待している。</li> <li>・市役所＝用がある時だけの印象から脱却して、一歩進んだ宮崎市にして今までの政権との違いを感じさせて欲しい。</li> </ul>	<p>民間施設の併設について、基本構想策定にあたり民間事業者への聞き取り調査を実施しましたが、大規模な民間施設については期待できないとの結果でした。</p> <p>ご意見を踏まえ、基本計画においても、再度民間事業者への聞き取り調査を行い、改めて民間施設の誘致が可能か検討します。</p>

No	ご意見	ご意見に対する本市の考え方
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の位置より宮崎駅の方が断然利便性が良い。</li> <li>・もし費用を抑えるのなら、南宮崎駅前の宮交ビルの活用や、田野など、安い土地にすれば良いと考える。</li> <li>・また、比較資料で、現庁舎の土地売却はなぜ入っていないのか？</li> <li>・土地取得に費用がかかる分、売却で埋め合わせをすれば良い。</li> <li>・検討候補が少なすぎ、政治的な力で変わってるのではないかと疑問に感じる。</li> </ul>	<p>本市のまちづくりの計画である都市計画マスタープランでは、市役所などの行政機能を、都市機能の集約を図るエリアである中核拠点に集約することとしておりますことから、中核拠点内の現地と宮崎中央公園を候補地としたうえで選定しております。そのうえで、利便性や防災面で大きな差はなく、事業費を抑制でき、宮崎中央公園を中心部の貴重な都市公園として存続できる「現地」に建設することが必要であるという判断に至りました。</p> <p>現庁舎敷地に関しては、市民プラザとの連携や、仮に移転する場合には中心部の貴重な都市公園である宮崎中央公園を一部活用することになるため、第一義的には跡地の公園的な利活用の可能性などの検討に留めたところです。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい宮崎市役所内に、神戸市役所のように食堂を作ると、職員も市民も観光客も助かるし、庁舎を利活用できるし、市のシンボルかつ憩いの場になります。神戸市役所は、タワーの展望フロアや食堂に様々な人が来て賑わっている。</li> <li>・宮崎市役所は素晴らしい川岸の景観があるので、庁舎は市長が言われている華美でない計画の通りで、学食みたいな食堂でいいので、日替わり定食と麺類とコーヒー程度の負担のない規模で構わないので、心身共に多忙な職員が、タニタ食堂の例のようにヘルシーかつ健康的な食事が交替で取れると助かる。</li> <li>・外部者と煩雑になるので、できれば市民や観光客の食事と仕切りや隣部屋で隔ててあると、職員は他の部署の人と交流できるコワーキングスペースとしても使える。</li> <li>・周辺に展望場所の無い立地なので景観も新鮮で、高齢者や幼児や身体の不自由な人もバスで便利に行ける、宮崎市街と山河を見渡せる新スポットになり、避難所の炊き出しも可能になる。</li> <li>・かつて宮崎県庁が観光スポットとなったように、訪れて元気の出る人気の市役所は、宮崎市に移住したくなるイメージアップとなる、SDGs市役所となる。</li> <li>・長年の間、毎日コンビニや注文弁当やお惣菜や購入パンや外食で済ませている、多くの職員の心身の健康管理や交流促進もできる。</li> </ul>	<p>今後実施する基本計画においては、民間事業者との対話等も行いながら、食堂やカフェなどを含む民間施設との複合化について検討していきたいと考えており、橘公園や市民プラザとの一体的な整備によって、市民の皆様に親しまれる新たな空間の創出に向けて取り組んでまいります。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎には市民課の待合などに猫の室内飼育モデルを設置、展示できるスペースがあると嬉しい。</li> <li>・普段はぬいぐるみで展示を行い、動物愛護週間の時のみ本物の猫を展示する…などメリハリをつけて啓発に使用し、清武にある動物愛護センターのPRもしてもらえたらと思う。</li> </ul>	<p>新庁舎における展示スペースや情報発信機能のあり方については、ご意見を踏まえながら、来年度策定する基本計画において検討します。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の将来の人口推移を基に、30年後までの市職員数を算出し、それを前提として庁舎の規模を定められているが、100.8人／1職員を固定して考えてよいものか？人口が30～40万人レベルの県庁所在都市の市役所の職員数はどうなっているのか？どのように推移すると考えられているのか？</li> <li>・総合支所・地域センター・地域事務所の各業務と本庁舎業務との関係性が十分に掘り下げられていないような「感じ」がする。本庁舎で執行している業務をいまより更に広範囲にわたって各総合支所・地域センター・事務所に権限移譲・移行すれば、本庁舎業務が大幅に減少出来て、職員数も減らせる＝本庁舎の規模が縮小できるのではないのか？</li> <li>・「合理化」のためには、業務を一旦「分散」し、次いで、「再『集約』」するという進め方もあるような気がする。旧宮崎市と周辺の町（佐土原・高岡・田野・清武）とが合併し、各町役場がそのまま総合支所となって運用されている現状を見ると、現本庁舎業務を地域センター・事務所に更に分散するという荒療治も考えてみても良いのではないかと思考する次第である。</li> <li>・基本理念・基本方針</li> <li>・「徹底したコストダウン」という基本的な概念が表現されていない？ されているのかも知れないが、判り難い。</li> <li>・新庁舎が竣工し、職員が各自移動できるようになるまで十分な期間時間が有ると思いますので、ご検討いただきたい。</li> </ul>	<p>職員数については、本市は中核市平均と比較しても、少ない職員数で行政サービスを行っているところですが、基本構想においては、本市の第2期地方創生総合戦略における人口推計モデルの人口減少率に合わせて、本市職員数も減少させていくことを念頭に、新庁舎建設時点での職員数を試算しております。</p> <p>今後、DXにおける業務の効率化が図られていくことが想定できる一方で、少子高齢化や生産年齢人口の減少などが見込まれる中で、多様化・複雑化するニーズにも対応していく必要もあります。</p> <p>本庁舎と総合支所・地域センター・地域事務所の役割については、DXによる行政サービスのあり方などについて今後も検討をしていきますが、現時点では、総合支所等の機能を本庁に集約して、総合支所等の職員を本庁に引き上げたり、逆に本庁の機能を総合支所等に移管して、本庁から総合支所等に職員を移すことは考えにくいと考えております。</p> <p>事業費の抑制に関しては、市民アンケートでもご意見をいただいております。将来世代への財政負担の軽減の観点からも、引き続き検討を進めてまいります。</p>

No	ご意見	ご意見に対する本市の考え方
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①現在地を選定した理由として「建設費の抑制」があるため、最低限、今回の素案で示した現在地での建設コストがもう一つの候補地だった「宮崎駅周辺」の建設コストを今後上回ることがないようにコスト管理を徹底してほしい。もし、今後の基本設計や実施設計（建設詳細設計）の時点で、もう一つの候補地の建設コストを上回るようになれば、今回の建設地を現在地に決定した理由の根拠が不透明になってしまうことが懸念される。（※土木工事で違い建設工事は基本構想時よりもコストが膨らむケースが多いので心配している。）</li> <li>・②現在地は大淀川氾濫時に「0.5m以上の浸水が最長3日間継続する」という広大な浸水想定区域に含まれていることを国土交通省が公表している。すなわち、職員がいる市役所の開庁時間帯に氾濫が発生したときだけが、新庁舎での本部機能が維持できることとなり、夜間及び休日の氾濫発生時は、最低でも3日間程度は本庁舎への参集が困難となる。当然、水が引いた後の瓦礫やゴミは道路に残ることとなるため、この撤去が完了するまでは職員の参集は相当期間円滑に行えないことも想定される。一方、宮崎駅東側の候補地については、ほぼ浸水しない上に、周辺も1日以内で浸水しない状態となるため、全く浸水しない北部地域との連携が十分に期待できることから、かなりの本部機能の維持が期待できる。</li> <li>・今回の基本構想では、以上のような議論や検証が公表されていないこと等を含み、今回の設置場所の選定においては、防災面での機能の維持という点で十分な検討が不足していたと感じる。ただ、コスト面と平常時の機能を重視しており、発生可能性の極めて低い大淀川の氾濫時の懸念事項は大きな問題ではないというスタンスを採用することも当然だと感じる。</li> <li>・③本来一体だった「福祉部」と「子ども未来部」の連携が希薄となっている現状をより改善できるような、ワンストップ相談をベースとした機能的な配置を強く望む。</li> <li>・④これは質問ですが、宮崎駅東側に移転した場合の空き地となる現在地の売却益の試算は基本構想に含まれていたのでしょうか。</li> </ul>	<p>建設コストについては、現段階で算出可能である概算事業費として算出していますが、基本設計及び実施設計において、コスト管理を徹底してまいりたいと考えています。</p> <p>災害リスクに関しては、新庁舎建設における対応として、免震構造や敷地のかさ上げ、災害対応時に必要なライフラインや災害対策本部機能などの検討を進めていますが、職員の参集のあり方（参集体制や参集場所）などについても、庁内で議論を進めているところです。</p> <p>また、新庁舎については、行政手続きや相談窓口のオンライン化を進め、さらには、手続きが一箇所で済むようワンストップ窓口を導入するなど、来庁する方、来庁されない方どちらにも利便性の高い市役所を目指して取り組んでまいります。</p> <p>現庁舎敷地に関しては、市民プラザとの連携や、仮に移転する場合には中心部の貴重な都市公園である宮崎中央公園を一部活用することになるため、第一義的には跡地の公園的な利活用の可能性などの検討に留めたところです。</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1階は全面駐車に（道路レベル）東西他からの出入り最適に）。</li> <li>・自転車（電動）駐輪スペース（少し余裕を持つ）を設ける。</li> <li>・河川敷は従来通り整備活用する。</li> <li>・2階市民対応窓口他（レベルは河川堤防より上に）。</li> <li>・河川側（南）河川流量監視拠点を設ける。</li> <li>・地下階層は防災他多目的に堅固に作る。</li> </ul>	<p>新庁舎の配置計画や導入する機能については、次年度実施する基本計画で検討を進めることとしておりますが、防災面を考慮し、敷地のかさ上げを行うことを予定しており、駐車スペースについても、利便性を考慮しながら、検討してまいります。</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のことを考え、小学生に対しての教育的機能を備えてほしい。</li> <li>・子供の頃から、市役所の役割等を学ばせることが、将来の選挙の投票やふるさとに戻ってくる率をもあげるのではないかと思う。</li> </ul>	<p>新庁舎に導入する機能については、ご意見を踏まえながら、来年度策定する基本計画で検討を行います。</p>

No	ご意見	ご意見に対する本市の考え方
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・候補地の一つであった、保健所・科学館・公園の市所有の庭・体育館・テニスコート等、宮崎駅東口の市所有の建物も老朽化してきており、同時に検討が必要かと思慮する。</li> <li>・市職員の方は効率のよい、働き方改革にのっとった理想の職場を希望ですが、市民としてはより、予算のかけずにコンパクトな市役所。（DXで来庁機会もなくなってくるので）市職員の働く場でなく、住民サービスの充実を願っている。</li> <li>・例えば市の職員は再任用も含めての数ですが、有期雇用や請負契約の人数を含めて執務者を想定されているか不明である。また別件用事で、市にうかがっても、「担当でないのわかりません」と言われ、窓側での上席者はPCの前で答えてくださらないことが多い経験をしている。</li> <li>・掃除等も一般企業では社員が行い、内製化していますが、市は専用の方が執務室をされている。費用も含め、民間目線から外れている面を感じる。そこまで時間がかかりませんので。</li> <li>・建物の配置で立体駐車場ありきであるが、市民は立体駐車場を慣れていなくて、YYパークや県病院の駐車場で事故を多くみている。また交通整理に誘導員配置といった経費も固定的にかかる。駐車場に関しては、新庁舎の建設後の利用状況をみての判断がいいかと思われる。現在の川沿いは不便さがありますが、予定の立体駐車場は移動距離も変わらないし、高齢化するドライバーにとって立体駐車場の事故が心配である。近い将来は自動車の技術革新（駐車技術）もあり、それをみてからの判断でもいいかと思う。</li> <li>・DXに関しては、市に専門職の方が採用されているので進めていくかと期待している。</li> <li>・まず、建物の規模に関しては、DXを手段として、働き方改革を進めるために、フリーアドレスや執務室の考えも最近に変化している。支所も含め最低必要な面積は確保し、管理部門等はよりコンパクトにでき、部署もタイムリーに可変できる20年後のオフィスの検討が必要でそれから、規模を考えるべきだと思う。近年は踏み込んだFM検討が必要である。</li> </ul>	<p>科学技術館、体育館については、それぞれの施設において、今後の必要な対応を検討していくことが必要と考えております。</p> <p>新庁舎については、行政手続きや相談窓口のオンライン化を進め、さらには、手続きが一箇所で済むようワンストップ窓口を導入するなど、来庁する方、来庁されない方どちらにも利便性の高い市役所を目指して取り組んでまいります。</p> <p>立体駐車場を含む駐車台数については、現在の利用状況を考慮したうえで、新庁舎に整備する台数を算出しておりますが、基本計画においても、台数や駐車場の形式など、さらに精査していくこととしております。</p> <p>執務室については、フリーアドレスなどを導入している近年庁舎を建設した先進自治体を参考に面積を算出しています。また、基本方針に記載しているとおり、時代のニーズに応じて執務空間を柔軟に変更でき、業務を効率的に実施できる庁舎を目指しており、基本計画において、庁舎規模も適正化について、さらに検討を進めてまいります。</p>
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所とは市民のためにサービスを提供することが一番重要な役割であると思う。</li> <li>・現在の市役所は窓口が多数あり、市民が市役所を訪れた際、どこの窓口へ行けば用事が済むか解らずに困る場合が多々ある。</li> <li>・また、一つの窓口では用事がたらず、あちこち窓口を回らなければならない。このような不便さを解消するためのモデルがある。東京都町田市である。ここは、60年以上前より申請受付の窓口は一箇所で交付窓口も一箇所である。すべての申請が一箇所で済むようになっている。当時現在のようにコンピュータシステムがない時代ですら、このようなシステムが構築されていたことを考えれば、現在ならば当然簡単にできるはずである。</li> <li>・もっと市民が便利で簡単に所用が足りるようなシステムを構築できることを望む。</li> <li>・市役所建設というとハードな建築物ばかり考えがちであるが、ぜひ市民が使いやすい親しみをもって利用できるソフト面を充実させ日本一の市役所を構築してほしい。</li> </ul>	<p>新庁舎については、DXによる行政手続きや相談窓口のオンライン化を進め、さらには、手続きが一箇所で済むようワンストップ窓口を導入するなど、来庁する方、来庁されない方どちらにも利便性の高い市役所を目指して取り組んでまいります。</p>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前、北九州市役所に行った時、建物が立方体で上下左右に動く動線が短くて、移動が便利であった。また、地下1F2Fが駐車場夏は車に乗るのも快適でした。クーラーもすぐ効いていいなと感じた。</li> <li>①宮崎市役所もぜひ立方体の建物にしてほしい。</li> <li>②公用車駐車を地下1Fに設けてほしい。</li> <li>・美郷町役場は、職員全員が左右にそで机がついている。。宮崎市役所のように105cm程度の小さな机でパソコンやドッチファイルを机にのせている人はいなくてすっきりとしたオフィスであった。</li> </ul>	<p>建物の形状や導入する機能については、ご意見を踏まえつつ、敷地の形状やコスト面を考慮しながら、来年度策定する基本計画で検討します。</p> <p>また、ペーパーレス化やフリーアドレスの導入など効率的な執務環境についても、検討を行います。</p>

No	ご意見	ご意見に対する本市の考え方
16	<p>『宮崎市役所』の看板や、『市民課』『子育て支援課』など各課の看板に、市民が書いた字や絵などを使ってほしい。自分の作品が『小戸之橋』の橋名板に選ばれたこともあり、今でも休日に家族と小戸之橋まで散歩して橋名板を見に行ったり、小戸之橋周辺のゴミ拾いをしたりしている。自分の作品を使われていることがとても嬉しいし、その場所が大好きになったし、たくさんの大切な思い出もできた。この気持ちをたくさんの宮崎市民に味わってもらいたい。</p>	<p>来年度以降の検討において、市民の皆様が新庁舎に愛着を持っていただけるような工夫についても、ご意見を踏まえながら検討を行います。</p>
17	<p>庁舎建替え時の職員数について、職員一人あたりの人口（100.8人）を維持することを目標にしているが、テレワーク、DX化などにより、今後、職員一人あたりの人口は、増えていく（効率化などにより増やしていくべき）ことになるのではないかと考える。従って、100.8人の数字から計算された庁舎建替え時の移転対象職員数を1,720人としていることと、「新庁舎規模の検討」で当該移転対象職員数を乗じることで算出された新庁舎規模の43,860㎡に疑問がある。</p> <p>庁舎規模については、書面や対面の手続きからオンラインへの移行、AIの活用、キャッシュレス化などにより、窓口でのサービスは激減すると考えるので、「1割縮減」は少ないのではないかと考える。</p> <p>職員のテレワークも、今後のワークライフバランスなどを考えると、「1割程度」は少ないのではないかと考える。</p> <p>同じ県都で中核市である長崎市役所新庁舎は、事業費が約264億円で、財源は基金約160億円や国からの支援などで、今後の財政負担は事業費の約10分の1である。</p> <p>宮崎市は仮に事業費を300億円とした場合、225億円を市債、残る75億円を基金で対応するとしている。宮崎市は、長崎市と比べて延床面積は狭いが、事業費は多く、財源内訳も厳しい状況であるほか、今後、消防局庁舎の建替えなど、財政需要はますます増大するものと思うので、市役所建替え事業費は、極力圧縮する必要があると考える。</p> <p>また、立体駐車場が22億円以上かかるようであるため、事業費抑制のため長崎市同様、地下一階に有料駐車場を整備してはどうかと思う。市はDX化推進などにより「来なくていい市役所」を目指すとしており、市民アンケートで財政負担の抑制が最多の62.4%あったこと、市役所に行く機会はほとんど無いか、年1～2回程度の人が全体の83.5%という結果からみて市民の理解は得られると思う。有料駐車場建設に補助金を出して、近辺の民間駐車場を利用してもらうことにしたらどうか。</p> <p>長崎市は、市民開放のレストランやコンビニも設けています。同じフロアの隅にコンビニを設ければ希望する業者もあるのではと考える。</p> <p>将来の金利上昇なども見据えて、市債に多くを頼る事業費は極力圧縮しておくべきと考える。</p>	<p>職員数については、本市は中核市平均と比較しても、少ない職員数で行政サービスを行っているところですが、基本構想においては、本市の第2期地方創生総合戦略における人口推計モデルの人口減少率に合わせて、本市職員数も減少させていくことを念頭に、新庁舎建設時点での職員数を試算しております。</p> <p>今後、DXにおける業務の効率化が図られていくことが想定できる一方で、少子高齢化や生産年齢人口の減少などが見込まれる中で、多様化・複雑化するニーズにも対応していく必要もあります。</p> <p>庁舎規模については、職員アンケートに基づき、想定されるテレワーク率を加味したうえで設定しておりますが、来年度に策定する基本計画の検討の中で、DXによる行政サービスのあり方などについて今後も検討をしたうえで、改めて精査してまいります。</p> <p>事業費については、市民アンケートにおいても、庁舎建設に際して最も重要とする視点として挙げられておりますことから、将来世代に少しでも負担を残さないよう、基本計画・設計を進めていく中で、駐車場の整備手法を含め、コスト抑制に向けた取組を進めてまいります。</p> <p>また、民間活力の導入と歳入確保の観点から、民間事業者との対話等も行いながら、立体駐車場についても民間施設との複合化について検討していきたいと考えており、橋公園や市民プラザとの一体的な整備によって、市民の皆様が親しまれる新たな空間の創出に向けて取り組んでまいります。</p>